

単元案の概要

テーマ
ドイツ語で大学紹介
目標
<p>学習レベル 2</p> <p>立命館大学の魅力を伝える動画をドイツ語で作成し、YouTube で世界に発信してみよう。</p>
コミュニケーション能力指標
<p>学校生活 2-a 大学内のどこに何があるかについて、口頭でやりとりできる。</p> <p>学校生活 2-b 大学の簡単な概要を説明した、簡単な資料を作ることができる。</p> <p>学校生活 2-d 大学のスケジュールについて、口頭または書いてやりとりできる。</p> <p>食 2-a メニューを見て、大きな分類が理解できる。</p> <p>行事 2-a 行事の際に自分や自分の家族はいつ・何をするのか、口頭で紹介できる。</p>
学習シナリオ
<p>立命館大学法学部 1 回生ドイツ語クラスでは、立命館大学の魅力を世界に発信するためにドイツ語で大学紹介の動画を作成し、YouTube で公開することとなった。</p> <p>まず、3 人から 6 人程度のグループに分かれ、何をどのように紹介するのかを相談する。それが決定した後、既習事項から必要な語彙や表現を洗い出し、一覧表を作成する（この一覧表は動画制作の後にクラス内でシェアする）。その後、実際にキャンパス内（あるいは周辺地域）で動画を撮影し、編集等を経て完成したものを YouTube にて公開する。また、動画撮影時に使用した台本に日本語訳を添えたものを作成する。クラス内でも発表会を行う。公開から 1 ヶ月を経た後、どのグループの動画が最も視聴されたか、そしてドイツ語でのコメントをもらったかを公表し、優勝グループを決定する。</p>
総括的評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 制限時間（3 分）を遵守し、適切な長さの動画を期限内に制作し、公開できる。 ・ ドイツ語の台本を作成し、適切な日本語訳を添えることができる。 ・ 魅力を発信するためにはどのような点を強調すれば良いかを理解し、的確にまとめることができる ・ 相手に伝えるということを意識し、ドイツ語で語ることができる。

「外国語学習のめやす」マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：立命館大学准教授 田原憲和

3 × 3 + 3 分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 大学施設などのドイツ語表現がわかる 伝えるための発音の重要性が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の大学のセールスポイントがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 学生自身による大学の国際発信力強化の重要性がわかる 大学を構成する一員として、それぞれが大学にとっての外交官であり、魅力を発信する伝道師であるということがわかる 個人が世界に情報を発信するツールとして動画が有用であり、その作成能力を身につけることの重要性がわかる
できる	<ul style="list-style-type: none"> 大学施設などの一覧表をドイツ語で作成できる 伝達可能なドイツ語で語ることができる 日本語訳を添えたドイツ語台本を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の大学の価値や魅力について調べ、魅力を（再）発見できる 外国人にとって自分の大学がどのように見られるかを推測できる。 自分の大学のセールスポイントを外国人の興味・関心を惹くように説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> 立命館大学の学生として、グループでその魅力を語り合い、ポジティブマインドを持つことができる 立命館大学の特長や魅力を発信するために情報を分析・吟味し、自らの考えをまとめることができる 動画を撮影・編集し、ウェブ上にアップロードすることができる。
つながる		<ul style="list-style-type: none"> 外国人が自分の大学に対して抱く疑問点を認識し、それを解消できるように説明ができる 	<ul style="list-style-type: none"> YouTube に動画をアップロードし、公開することで、世界に対して情報を発信することができる
三連携	<p>連携1：立命館大学の学生として自分の大学に対する関心、愛校心</p> <p>連携2：立命館大学の学生としての自らの経験、「立命館学」</p> <p>連携3：立命館大学衣笠キャンパスおよび周辺地域、YouTube を通じて世界中の立命館大学に興味のある人々</p>		

「外国語学習のめやす」マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：立命館大学准教授 田原憲和

評価ルーブリック

テーマ：ドイツ語で大学紹介

指示文：立命館大学の魅力を伝えるための動画を制作します。ポイントを的確にまとめ、3分以内で大学の魅力などを伝える動画を作成して下さい。以前に作成した一覧表やこれまでの学習内容を活用し、ドイツ語の台本の作成からはじめましょう。台本には日本語訳も添えて下さい。また、台詞あるいはナレーションは正確で聞き取りやすい発音を心がけて下さい。また、台詞あるいはナレーションはメンバー全員が交代で担当して下さい。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し！ (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
台本（ドイツ語） ×2	誤り（文法・スペル）がない正確な文章であり、適切な表現を用いた自然な文章で、必要な内容をきちんと伝えることができている。	誤り（文法・スペル）がない正確な文章であり、必要な内容をきちんと伝えることができている。	誤り（文法・スペル）が散見されるものの、必要な内容がある程度伝えることができている。	必要な内容を伝えようとする努力は見られるものの、誤り（文法・スペル）が多く、十分に伝達できていない。
台本（日本語訳）	ドイツ語で伝えたい内容を十分に汲み取り、魅力的な日本語の役を添えることができている。	ドイツ語に忠実で自然な日本語訳を添えることができている。	ドイツ語に忠実な日本語訳を作成しようとする努力が見られるが、日本語として不自然な点が残っている。	日本語に訳そうとする努力が見られず、ドイツ語と内容が大きく異なっている。
内容の的確さ	伝えたい内容をうまくメリハリを付けてまとめることができている。	伝えたい内容をうまくまとめることができている。	一部に不明確な部分が残るものの、伝えたい内容をある程度うまくまとめることができている。	伝えたい内容をまとめようとする努力は見られるものの、的確にまとめることができている。
ドイツ語での語り	正確で聞き取りやすい発音だけでなく抑揚にも気を配って発話することができている。	正確で聞き取りやすい発音を心がけ、発話することができている。	正確で聞き取りやすい発音をしようとする努力が見られるものの、言いよどみや言い間違いが散見される。	ドイツ語を発話しようとする努力は見られるものの、相手にうまく伝わるようには発話できていない。
ルール遵守	提出期限より遅れてしまった（-1） 動画が長過ぎた（3分以上）あるいは短すぎた（1分未満）（-1）			

「外国語学習のめやす」マスター研修 2013 課題発表：目標設定・活動・評価

作成者：立命館大学准教授 田原憲和

目標の要素分解

テーマ：ドイツ語で大学紹介

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
立命館大学について客観的に分析してみる	立命館大学の魅力や良い点をまとめ、自分の大学をもっと好きになろう	大学の魅力を外部に発信する学生外交官となろう	立命館大学の魅力を伝える動画をドイツ語で作成し、YouTube で世界に発信できる。 状況設定：立命館大学の魅力を世界に発信するためにドイツ語で大学紹介の動画を作成し、YouTube で公開することとなった。そのためにグループで何を紹介すべきかをまとめ、「伝わるドイツ語」で動画を作成する。
立命館大学の特長や魅力、良い点や外部にアピールできる点をグループ内で話し合う			
外国人が日本の大学について抱く疑問点とその解決方法がわかる			
大学施設などをドイツ語にし、単語・表現リストを作ってみよう	簡単な表現による台本をドイツ語と日本語で作成してみよう	アナウンサーやカメラマンになりきって実践してみよう	
何を伝えたいかをまとめるためにマインドマップを作ってみよう			
発音・イントネーションの大切さを理解し、伝わるドイツ語とは何かを考えてみよう	日本人にとってもドイツ人にとっても聞き取りやすい発音ができるようになろう		